



学校に咲く花

# 村岡中だより



校長 橋田 誠 司

いよいよ梅雨もあけて本格的な夏が近くなってきました。各地で天候不順のため、災害が発生しております。被災された地域の日も早い復興をお祈り申し上げます。

## 初めての定期テスト！

一年生にとっては、6月の中間テストが初めての定期テストとなりました。とても緊張した人、思っていたよりも大丈夫だった人、様々だったと思います。自分の力を発揮するためには、地道な努力の積み重ねが一番の近道となります。小さな努力は小さな自信となり、やがて自分の力となります。粘り強く確実に学習に取り組みましょう。まずは、授業を大切に。

## おやじの会(トンボと花壇コンクール)

おやじの会がグラウンド整備で使用するトンボの修繕をして下さいました。また、花壇コンクールで使用する枠組みも作っていただきました。

トンボは早速グラウンドの部活動で使わせていただきました。また、花壇コンクールに向けては、枠組みを利用して和風庭園を作製しました。



## 花壇コンクール

花壇コンクールに向けては緑化ボランティアの皆さんが昨年度から花の準備をして下さり、種からきれいな花がいっぱい咲きました。

そして、緑化委員会の生徒たちが一鉢ずつ丁寧に水やりをして、飾り付けをしました。

結果は銅賞でしたが、様々な方々が関わって下さった5年連続の受賞なので、素晴らしい結果だと思います。皆さんありがとうございます。緑化委員の生徒のみんな、頑張ってくれてありがとう。



## 修学旅行

本年度は直前に震度6弱の大阪府北部地震があり、ご心配をおかけしました。出発の朝は雨模様でしたが、奈良・京都では好天に恵まれての活動となりました。ホームページの中にも少しではありますが、リアルタイムで行動の様子を掲載し、多くの方のアクセスをいただきました。

修学旅行での様子は、裏面にレポートさせていただいております。ご覧ください。

## 2018（H30）修学旅行を終えて

6月24日、今年は藤沢市役所に集合しました。小田原に向かう電車も、日曜とあって人が少なく、一般のお客さんにもあまり迷惑をかけることなく移動することができました。

新幹線での楽しいひと時が終わり、降り立った新大阪の駅では地震の影響を感じることなく、バスに乗ることができました。空はすっかり晴れて白い夏の雲が青い空に浮かんでいます。バスは通天閣やあべのハルカス、そしていくつかの古墳などを窓外に見ながら、斑鳩の地へ。お昼ごはんのカレーライスをしっかり食べて、法隆寺見学。雨上がりの晴天で、むっとした熱気の中、砂利を踏みながらの見学でしたが、法隆寺特有の埃っぽさがなく、塔心礎周囲の北面塑像、金堂の釈迦三尊像を見学し、大宝蔵院では、百済観音像や玉虫厨子も見ることができました。厨子では「どこに玉虫が使われているの？」と目を凝らす生徒も多くみられました。塔の塑像見学では、だいぶ並んだクラスもありましたが、それでも旅行会社の方によると、修学旅行もピークを過ぎて今はだいぶ空いていたとのことでした。その後、夢殿を見学して移動のバスへ。

1日目最後の見学地は東大寺。確かに、バス専用の南大門駐車場は、すんなりと中に入ることができ、「空いている」が実感できました。鹿と記念写真を撮った後はクラスごとに大仏殿に入り、建物と中の像の大きさに圧倒されながら見学をしました。鹿は、すっかりつややかな夏毛になり、鹿の子模様もくっきりと見えて、角もまだみずみずしく、触れ合うにはベストシーズンでした。

見学を終了し、一路宿のある滋賀へ。琵琶湖ホテルの立派さに「すご〜い」の声が上がっていました。1日の締めは、ディナークルーズ。ビュッフェスタイルの夕食、そしてショーは大盛り上がりでした。

6月25日、この日は1日班別行動です。普段なら、職員の本部は京都まですぐに出られる琵琶湖ホテルに置いて、1〜2名の職員が待機するのですが、今回は京都市内に本部を確保して一人でも多くの職員がすぐに動くことができる体制をとりました。

市内は36度まで気温が上がり暑い一日でした。人気スポットは次のような感じでした。伏見稲荷と金閣寺がともに28班、あまりにも有名な場所で、それぞれに見ごたえがありますね。学問の神様、北野天満宮は24班が立ち寄りました。龍安寺17班、二条城16班とこちらも有名な見学地です。なかには養源院や清明神社など、なかなか渋い選択もありました。道を間違えた班もあったようですが、それぞれに充実した経験ができたと思います。ホテルの夕食は、和のテイストでした。

6月26日、最終日です。まずはバスで比叡山へ。山の上ではありますが、この日も暑くなりそうな陽気です。歩いているとじわっと汗が出てきます。根本中堂は、工事で全体がおおわれていましたが、中はひんやりとした空気で満たされていました。1200年間、一度も絶えることなくとり続けているという不滅の法灯は、油や灯心をつぎ足す当番がいるわけではなく、皆が気を配って絶やさないようにしているというお話は、私たちの心がけとして大切にしたいと感じるものでした。

山を下りてバスは京都市内へ。体験は友禅染か清水焼の絵付け。私は友禅を見ましたが、5枚の型紙を使って、ずらさぬよう慎重にニードルを打ち、皆、真剣に染色に取り組んでいました。

体験を終え、南禅寺を少し散策し、南禅寺順正で湯豆腐のお昼ご飯。田楽と天ぷらで和を味わいました。そしてバスは京都駅へ。皆、整然と並んで新幹線に乗り込み、無事に藤沢に帰ってまいりました。3日間晴天に恵まれた修学旅行でした。